

RORO船によるシームレス輸送で北九州港を超精密機器の国際輸送拠点に

北九州市門司区田野浦地区に物流センターを持つ「キャリムエンジニアリング株式会社（本社：東京都）」は、中国の液晶パネルメーカーが、安徽省合肥市と内蒙古自治区オルドス市に建設を進めている、新工場に設置する液晶パネル製造プラントの輸送・据付工事を受注した。

これを機に、同社はこのプロジェクト貨物を東アジアに近い北九州港を中心拠点として輸出することとした。

記

1 キャリムエンジニアリング株式会社の概要

昭和54年設立。本社は東京都江東区新木場。自社で精密機器専用船を運航し、工場出荷から現地工場搬入・据え付け・組み立てまで一貫受託するサービスを開発し、「超精密機器の国際輸送業界」のトップブランドとしての地位を確立している。

1) 北九州市内の物流拠点

①東アジアに近い地理的優位性、②優先的に利用できる岸壁、③北九州港の豊富なフェリー・RORO航路を利用することで、東日本地区の貨物も効率的に集めることが出来ることから、2007年に北九州市門司区に2.7haの用地を取得した。

工場と同じ清潔な環境で組み立て、検査などができるクリーンルーム（2000㎡⇒4000㎡に拡張予定）を2008年に、屋外作業場（6600㎡）を2011年に建設するなど、積極的に施設の整備を進めてきた。

2) 使用する船舶の仕様

船名	総トン数	全長	積載量（注）
ASIA INNOVATOR （アジア・イノベーター）	15,380トン	151m	61台
FORESIGHTER （フォアサイター）	38,062トン	178m	200台

（注）13mシャーシ換算

3) 地元代理店等 門司港運株式会社 港運事業、船舶代理店、通関業務

2 拠点化に伴う経済波及効果

1) 新規雇用

- ①正規社員 32名（事務2名、ドライバー等30名）
- ②パート 40名（クリーンルーム内の精密機器のクリーニング作業）

2) 地元発注

①内航フェリーの利用

関西や関東・東北地方から調達されるプラント用資材の一部は新門司地区のフェリーを利用し、田野浦地区の物流センターに運び込まれる。

②梱包業務

温度管理が不要な貨物は、地元の梱包業者に発注される。

3 今回受注した中国プロジェクト

1) 概要

京東方科技集団（北京市）は、もともとは中国最大の国有ブラウン管生産メーカーで1956年に設立された。1997年に、国有企業改革に沿って、北京市政府が持株の過半数を持つ会社として再構成された。

同社は、2011年12月に北京で、大型ガラス基板を使う「8.5世代」の液晶パネル工場を中国勢で初めて稼働させている。同社の下記の二つのプロジェクトをキャリム社が受注した。

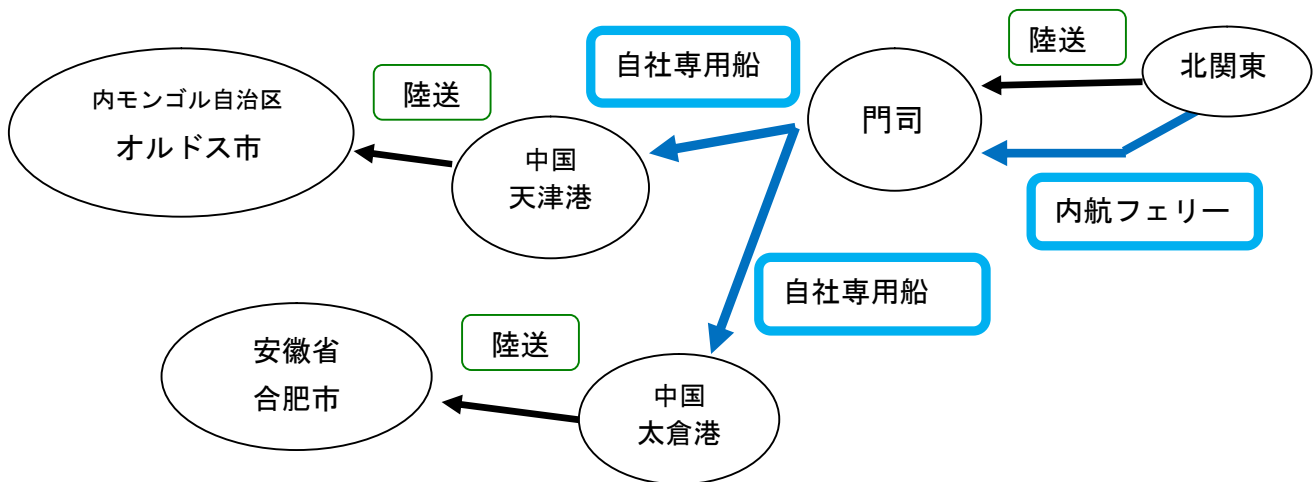
① 安徽省合肥プロジェクト

最大55インチの大型液晶テレビ向けにパネルを供給する計画、総投資額は285億元（約3500億円）で、2014年1～3月期の稼働を目指す。

② オルドスプロジェクト

第5.5世代のAMOLED（アクティブマトリクス式有機EL）ラインを内モンゴル自治区オルドス市東勝区に建設する。投資総額は220億元（約2700億円）、工期は29カ月を見込む。

2) 輸送経路のイメージ



* 中国の港 太倉港（中国 江蘇省）、天津港（中国 天津市）

3) 今回の貨物量 100台程度（平成25年6月29日出港予定）

4 精密機器専用船の入港実績、半導体製造装置等輸出货量（重量ベース）の全国シェア

	H24年
北九州港寄港数	7隻
北九州港全国シェア	3.8%（9位）

*北九州港からの輸出が6月下旬以降に本格化することから、H25年の全国シェアでは上位3位以内に入る可能性が高いと見込んでいる

（出典：財務省貿易統計）

5 使用船舶、物流拠点、特殊コンテナなど



「精密機器専用船」

① 船 船

精密機器専用船を保有する会社は国内はもとより海外でも例がないと言われている。

② 輸送機器

a) 特殊コンテナ

- ・ 定 温 22度～24度に調整
- ・ 定 湿 45～55%
- ・ 内 装 静電気防止素材を使用
- ・ サイ ズ 最大幅3.2m

b) トレーラ

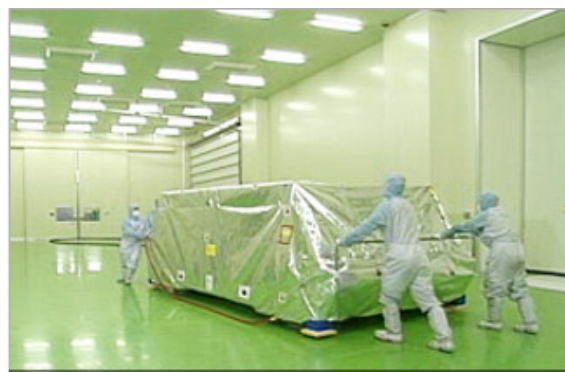
- ・ 防 振 エアサスペンション付き車台

c) 価 格

3000～4000万円/台



船内での厳重なラッシング



クリーンルーム内での作業



6月27日(木) 荷役風景



門司MUT
(Moji Multi Utility Terminal)



北九州港
マスコットキャラクター
「スナQ」